

令和4年度 全国安全週間メッセージ

三重労働局長 金尾 文敬

全国安全週間は、労働災害防止活動の推進を図り、安全に対する意識と職場の安全活動のより一層の向上に取り組む週間です。昭和3年に第1回が実施されて以来、「人命尊重」という基本理念の下、一度も中断することなく続けられ、本年で第95回を迎えます。労働災害を防止するため、産業界での自主的な活動の推進と、職場での安全に対する意識を高め、安全を維持する活動の定着を目的としています。

この間、事業場では労使が協調して労働災害防止対策を展開し、労働災害は長期的に減少してきました。しかし、近年は、就業人口が高齢化し、高年齢労働者の労働災害や、転倒や腰痛などの労働者の作業行動に起因する労働災害が顕著に増加しています。これらの災害は、事業者が行う対策だけで防ぐことが困難な場合もあるため、災害防止に向け労使一丸となった取組が求められます。

令和3年の当県における労働災害の死亡者数は、対前年比で1人減少して17人となりました。しかし、休業4日以上死傷者数では、対前年比で75人増加して2,201人となり、本年に入っても増加する傾向にあることから、予断を許さない状況が続いています。

このような状況下で労働災害を減少させるには、事業者・労働者双方が労働災害防止のための基本ルールを徹底し、それらを遵守・実行するための時間的・人力的余裕のある業務体制を構築することが重要です。そのため、今年度は、

安全は 急がず焦らず怠らず

のスローガンの下、全国安全週間を実施します。

三重労働局では、死亡災害の撲滅と死傷災害2,000人未満を目標として、現在、「死亡災害ゼロ・アンダー2,000みえ推進運動」を展開しています。引き続き、本推進運動へのご賛同とご協力、そして更なる実践をお願いいたします。

この機会に職場における労働災害防止活動の大切さを再確認し、新型コロナウイルス感染症対策について十分留意しつつ、積極的に安全活動に取り組みましょう。

第95回全国安全週間

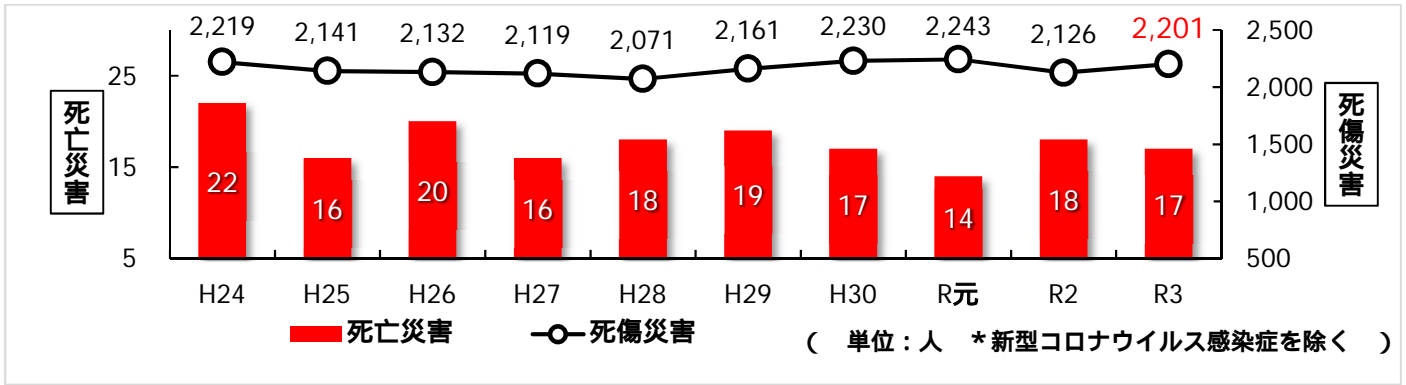
期 間：令和4年7月1日（金）から令和4年7月7日（木）

準備期間：令和4年6月1日（水）から令和4年6月30日（木）

[全国安全週間 実施事項](#)

[検索](#)

労働災害発生状況



令和4年 死亡災害発生状況

令和4年4月30日現在

発生月	業種	職種	年齢	事故の型	発生状況
2月	木造家屋建築業	大工	50代	墜落・転落	被災者は、新築の建築工事現場において、石膏ボードを張っていたところ、約4mの高さから墜落した。
4月	無機・有機化学工業製品製造業	作業員	20代	墜落・転落	被災者は、反応器の内部を縄梯子で上っていたところ、約10mの高さから墜落した。

死亡災害ゼロ・アンダー2,000 みえ推進運動（1月1日～12月31日）

機械災害防止対策

安全装置等の有効化 作業手順の励行 リスクアセスメント・リスク低減措置

墜落・転落災害防止対策

足場・屋根・脚立・はしご・階段・トラックの荷台等からの墜落・転落災害防止

交通労働災害防止対策

「交通労働災害防止のためのガイドライン」

交通ルールの遵守 運転時及び歩行時の安全確認の徹底

転倒災害防止対策

「STOP！転倒災害プロジェクト」

作業通路における段差や凹凸、突起物、継ぎ目等の解消 照度の確保、手すりや滑り止めの設置
危険箇所の表示等の危険の「見える化」

高齢労働者に対する労働災害防止対策

「エイジフレンドリーガイドライン」

転倒災害防止 身体機能を補う設備・装置の導入 身体機能の低下を考慮した作業内容の見直し
健康状況、体力の状況の把握・対応 丁寧な安全衛生教育の実施

STOP！熱中症 クールワークキャンペーン（5月1日～9月30日）

熱中症予防対策の取組を進めましょう。

墜落防止強調期間（7月1日～31日、12月1日～31日）

より一層の墜落・転落防止対策を推進しましょう（重点業種：建設業、道路貨物運送業）

死亡災害ゼロ・アンダー2,000 みえ推進大会 ～VRによる労働災害防止対策～（7月5日）

とき 令和4年7月5日（火）10：00～15：30 ところ 三重県総合文化センター（三重県文化会館）

内容 VR教材等の体験会、研究発表、講演など

アンダー2000 みえ推進運動

検索

安全は 急がず焦らず怠らず

職場での安全管理は、
確認・声かけが大事！



第95回 全国安全週間

令和4年 7/1(金) → 7(木)

準備期間：令和4年 6/1(水) → 30(木)



主唱者：厚生労働省、中央労働災害防止協会 協賛者：建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会

従業員の幸せのための安全アクション「SAFE」のロゴマークで、安全のシンボルマークである緑十字をモチーフとしたものです。

第95回 全国安全週間について

今年で95回目となる全国安全週間は、労働災害を防止するために、産業界での自主的な活動の推進と、職場での安全に対する意識を高め、安全を維持する活動の定着を目的としています。

事業場では、労使が協調して労働災害防止対策を展開し、労働災害は長期的に減少してきました。しかし、近年は、就業人口が高齢化し、高年齢労働者の労働災害や、転倒や腰痛などの労働者の作業行動に起因する労働災害が顕著に増加しています。これらの災害は、事業者が行う対策だけで防ぐことが困難な場合もあるため、災害防止に向け労使一丸となった取組が求められています。

このような状況下で労働災害を減少させるには、事業者・労働者双方が労働災害防止のための基本ルールを徹底し、それらを遵守・実行するための時間的・人力的余裕のある業務体制を構築することが重要です。そのため、今年度は、「安全は急がず焦らず怠らず」のスローガンの下、全国安全週間を実施します。

厚生労働省では、全国安全週間と合わせて、6月1日(水)から30日(木)までを準備期間として、安全広報資料等の作成・配布、安全パトロールの実施、労働安全に関する講習会の開催など、さまざまな取組を実施します。

主唱者：厚生労働省、中央労働災害防止協会 協賛者：建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会

労働災害例

腰痛
注意



転倒
注意



職場の安全、全国安全週間に関する情報はこちらでも発信しています!

厚生労働省 <https://www.mhlw.go.jp/>



中央労働災害防止協会 <https://www.jisha.or.jp/>



職場のあんぜんサイト <https://anzeninfo.mhlw.go.jp/>



あんぜんプロジェクト <https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzenproject/>



職場の安全、全国安全週間に関する情報はこちらで検索!

厚生労働省 安全衛生

検索

中央労働災害防止協会 全国安全週間

検索

職場のあんぜんサイト

検索

詳しくは、最寄りの都道府県労働局または労働基準監督署にご相談ください。

厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署